

介護事業所訪問 WEEK！の結果について

1 事業の概要

- ・市内の介護サービス事業所で就活生向け見学会・説明会を実施。
- ・法人及び事業所概要説明、事業所内見学、質疑応答の時間を設定。

2 対象

- ・介護職等として高齢者福祉・介護サービス事業所等で従事する意思のある学生
- ・介護人材養成校やその他大学・専門学校に所属している学生
(新潟青陵大学、新潟医療福祉大学、国際こども・福祉カレッジ、新潟医療福祉カレッジ)

3 事業実施期間

令和元年5月13日(月)～5月18日(土)

①10時～ ②13時～ ③15時～ (各回90分)

4 参加法人・参加人数

参加法人 35法人(101事業所)

参加人数 2名

6 主な事業へのご意見等

- ・周知不足
- ・開催時期や回数
- ・対象の拡大(高校生、親、社会人)

介護事業所訪問 WEEK!実績報告書

①実績報告書回収率

回収率	62.9
-----	------

②報告結果

1. 参加人数

総合計	2名
-----	----

2. 今回のイベントは、新たな人材確保の役に立ったと思うか。(あてはまるもの1つに○)

回答	割合
① とても役に立った	4.5
② 少し役に立った	4.5
③ あまり役に立たなかった	36.4
④ 全く役に立たなかった	45.5
⑤ 回答なし	9.1

3. 実施時期(5月中旬ころ)は適切だったか。(あてはまるもの1つに○)

回答	割合
① 適切(4~6月がよい)	27.3
② 7~9月がよい	13.6
③ 10~12月がよい	0.0
④ 1~3月がよい	0.0
⑤ どの時期でも問題ない	45.5
⑥ 回答なし	13.6

4. 実施期間(2週間)は適切だったか。(あてはまるもの1つに○)

回答	割合
① 3日以内がよい	4.5
② 1週間程度がよい	31.8
③ 2週間程度がよい(今回と同じ期間)	45.5
④ 1か月程度がよい	9.1
⑤ 回答なし	9.1

5. 1コマあたりの時間(90分)は適切であったか。(あてはまるもの1つに○)

回答	割合
① 30～60分がよい	31.8
② 90分がよい(今回と同じ時間)	54.6
③ 90分以上がよい	4.5
④ 回答なし	9.1

6. 介護人材確保のための取り組みとして、興味があるもの。(あてはまるものすべてに○)

I. アンケート結果

① 学生等を対象とした事業所訪問の開催(介護事業所訪問 WEEK!)	63.6
② 資格取得のための受講料の補助(介護職員等キャリアアップ支援事業)	45.5
③ 求職者や学生向けの施設見学会の開催(介護施設見学会)	77.3
④ 合同就職説明会の開催	59.1
⑤ 事業者と養成校間の情報交換会の開催	45.5
⑥ 事業者間の情報交換会・事例発表会の開催	13.6
⑦ 人材育成に関する講演会の開催	31.8
⑧ 特になし	9.1
⑨ その他	17.4

II. その他

- ・就職活動をする上で、今回の介護事業所訪問は役に立ったし、良い経験になりました。
- ・残念ながら今回は訪問者はいませんが、①企画がいつもと違った切り口で新鮮で興味が湧いた点、②また、何かしら露出したりすることで潜在的にも顕在的にもPRすることは大切と思っているので、また良い企画があれば提案していただきたい。
- ・市独自や施設による、介護職員養成と育成のための取り組み。

7. 今回の「介護事業所見学WEEK！」の感想や意見

- ・期待して見学者をお待ちしていましたが、申込み者が1人もいなくて残念でした。
- ・参加者0で残念でした。他社は参加があったのでしょうか？弊社で出来ることは参加させて頂きたく、今後も情報を頂きたく、宜しくお願い致します。
- ・見学の申し込みがなく、残念でした。1月下旬から3月上旬、6月上旬から8月上旬の年2回の開催を希望します。
- ・参加者がいなかったため、何もありません。
- ・今回、申込者が全くいなかったため大変残念でした。学校によっては丁度実習期間にあっていたところもあったようですので、実施時期については各校のスケジュールを確認のうえ決定する等検討が必要かと思えます。
- ・この度はお問い合わせをいただくことができませんでした。もう少し事前に予定が分かったり、周知が進むとより良いかと思えます。
- ・この企画が何を指すものなのかを明確にすると、目的意識が強い応募者が多く拾えると考えます。
- ・福祉人材センターや参加事業所も含めた周知活動を行い、周知期間も長く設けることで参加者を増やせるとありがたいです。
- ・学生はごくごく少数となっている。このような取り組みは継続して行う必要があるが、高校生やその親たちに対する啓もう活動も重要と考える。
- ・合わせて、社会人に対する、啓蒙や養成も同様と考える。
- ・離職者を減らす対策を講じてほしい。(賃金もあるが、仕事を続ける為の育成など)
- ・今回は参加ゼロで病院は参加が厳しいように思える。